

CASBEE-建築(新築)2016年版
令和7年度市営弥永住宅(その1地区)新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点		重み係数		全体	
Q 建築物の環境品質								3.1	
Q1 室内環境				0.40		-		3.5	
1 音環境				3.0		0.15		3.0	
1.1 室内騒音レベル		-		3.0		0.50		3.0	
1.2 遮音		-		3.0		0.50		3.0	
1 開口部遮音性能		-		3.0		1.00		3.0	
2 界壁遮音性能		-		3.0		-		3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		3.0		-		3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		3.0		-		3.0	
1.3 吸音		-		3.0		-		3.0	
2 温熱環境				3.0		0.35		3.7	
2.1 室温制御		-		3.0		1.00		3.7	
1 室温		-		-		-		3.0	
2 外皮性能		等級4を超える水準		3.0		1.00		5.0	
3 ゾーン別制御性		-		3.0		-		-	
2.2 湿度制御		-		-		-		-	
2.3 空調方式		-		-		-		-	
3 光・視環境				3.0		0.25		3.1	
3.1 昼光利用		-		3.0		0.43		3.5	
1 昼光率		昼光率=1.90%		-		-		4.0	
2 方位別開口		-		-		-		3.0	
3 昼光利用設備		-		3.0		1.00		3.0	
3.2 グレア対策		-		-		-		3.0	
1 昼光制御		-		-		-		3.0	
3.3 照度		-		3.0		0.21		3.0	
3.4 照明制御		-		3.0		0.36		3.0	
4 空気質環境				4.2		0.25		4.2	
4.1 発生源対策		-		5.0		0.60		5.0	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		5.0		1.00		5.0	
4.2 換気		-		3.0		0.40		3.0	
1 換気量		-		3.0		1.00		3.0	
2 自然換気性能		-		3.0		-		3.0	
3 取り入れ外気への配慮		-		-		-		3.0	
4.3 運用管理		-		-		-		-	
1 CO ₂ の監視		-		3.0		-		-	
2 喫煙の制御		-		3.0		-		-	
Q2 サービス性能				-		0.30		-	
1 機能性				2.4		0.40		2.8	
1.1 機能性・使いやすさ		-		3.0		0.40		3.0	
1 広さ・収納性		-		3.0		-		3.0	
2 高度情報通信設備対応		-		3.0		-		3.0	
3 バリアフリー計画		-		3.0		1.00		-	
1.2 心理性・快適性		-		1.0		0.30		2.5	
1 広さ感・景観		居室の天井高2.5m 以上		3.0		-		4.0	
2 リフレッシュスペース		-		2.0		-		-	
3 内装計画		-		1.0		1.00		1.0	
1.3 維持管理		-		3.0		0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		-		3.0		0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		-		3.0		0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.1		0.30		-	
2.1 耐震・免震・制震・制振		-		3.0		0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0		0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		-		3.0		0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		-		3.7		0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		RCで劣化対策等級3		5.0		0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-		3.0		0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニルクロス貼り		4.0		0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0		0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上B採用、Eは不採用		5.0		0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		2.0		0.20		-	
2.4 信頼性		-		2.6		0.20		-	
1 空調・換気設備		-		3.0		0.20		-	
2 給排水・衛生設備		-		2.0		0.20		-	
3 電気設備		-		3.0		0.20		-	
4 機械・配管支持方法		-		3.0		0.20		-	
5 通信・情報設備		-		2.0		0.20		-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
	1 階高のゆとり	—	3.0	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	—	3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		—	3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	緑地面積に配慮	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		等級4相当を超える性能	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI=0.79	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	—	3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	—	3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水コマに加えて、節水型便器を用いている。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシャーラン	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	—	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	乾式遮音二重床下地により躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	—	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	吹付け硬質ウレタンフォームA種1HODP=0、GWP=1を採用	4.0	1.00	-	-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		換算スコア:3.9	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	交通抑制負荷に配慮した計画となっている	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	—	-	-	-	-	
	3 悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの項目を一部満たしている、また、広告物照明無し	4.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	